

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	16-015	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Alcohol use in the Pacific region: Results from the STEPwise approach to surveillance, Global School-Based Student Health Survey and Youth Risk Behavior Surveillance System.</p> <p>太平洋諸島におけるアルコール摂取状況 : WHO の標準化された方法を用いた調査、学生を対象とした健康習慣などに関する調査、青少年の健康危険行為についての調査より</p>		
執筆者		
Kessaram T, McKenzie J, Girin N, Roth A, Vivili P, Williams G, Hoy D.		
掲載誌		
Drug Alcohol Rev. 2016 Jul;35(4):412-23. doi: 10.1111/dar.12328.		
キーワード		PMID
太平洋諸島、アルコール摂取、飲酒習慣、疫学、飲酒率		26358376
要 旨		
<p>目的 : アルコール摂取は、太平洋島嶼国および地域 (PICT) における疾病および障害の主要な危険因子である。本稿では、20 の PICT における飲酒パターンについて検討する。</p> <p>方法 : 25-64 歳を対象とした WHO の標準化された方法を用いた調査(STEPwise approach to surveillance)または同様のサーベイランス調査、学生を対象とした健康習慣などに関する調査(Global School-Based Student Health surveys)および青少年の健康危険行為についての調査 (Youth Risk Behavior Surveillance System: YRBSS) のデータを統合した。現在の飲酒と大量飲酒および成人にはアルコール摂取頻度を調べた。また YRBSS を使用して、米国提携 PICT における若年者によるアルコール摂取の 2001 年~2013 年の経年変化を調査した。</p> <p>結果 : 成人と若年者のアルコール摂取量は PICT 全体でかなり異なっていた。 PICT の 8 つの集団において成人男性の 60%以上が現在飲酒者であった。成人男性は成人女性に比べて、アルコールを頻繁に摂取し、多量飲酒者が多かった。青少年における現在飲酒者および多量飲酒者には、同様の性差がみられた。 10 の PICT における 13~15 歳の男性の現在飲酒者の割合は 10%~40%超であった。YRBSS のデータを使用した 2001 年~2013 年の飲酒の経年変化をみると、9~12 学年の学生のアルコール摂取量の減少がみられたが、その程度は島と性別により異なった。</p> <p>結論 : アルコール摂取量は PICT 間で大きく異なり、飲酒の有無には性差があった。</p>		